

## 研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	文化人
タイトル	iPod は本当に WALKMAN に敗れたのか		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	有岡聡 石田あかり 岩林貴子 川西一生 河原健介 寺本匡男 長谷川絢子 樋口智		
研究計画内容	<p>〔研究目的〕</p> <p>現代の社会で、個人が音楽を携帯し楽しむことは至って普通概念である。電車の中で音楽を聴く。友人や恋人と一緒に音楽を聴く。ジョギングしながら音楽を聴く。様々な場面で私たちは音楽と共に生活している。これらを可能としたのが携帯音楽プレイヤーという商品である。では、あなたはかつて携帯音楽プレイヤー市場で、Apple の iPod と SONY の WALKMAN という二大巨頭が激戦を繰り広げていたことを覚えているだろうか。私たちはこの両者の激闘の結果を明らかにし、そこから見えてきた Apple と SONY の戦略について研究する。</p> <p>〔研究内容・方法〕</p> <p>初代 WALKMAN は 1979 年に SONY が販売を開始し、携帯音楽プレイヤーの代名詞ともなった。現在では約 10 種類の WALKMAN を販売し、豊富なラインナップ、高品質な音質で高く評価されている。iPod は Apple が 2001 年に発表し、現在では 3 種類の iPod を販売している。携帯音楽プレイヤー市場は主にこの 2 者によって牽引されてきた。私たちは、この両者の日本でのシェア率を比較し、さらに生産台数、販売台数、事業別売上高、営業利益などから明らかとなった Apple と SONY という企業のビジネスモデルについて考える。</p> <p>〔期待される成果〕</p> <p>上で示した研究で、携帯音楽プレイヤー市場を取り巻く状況を知ってもらい、さらに現在の Apple と SONY の抱える問題などについて理解してもらうことが私たちの望む成果である。圧倒的な存在感を示す Apple と、かつて世界をリードした SONY が落ち武者として浮浪する現状について考え、理解してもらうことで、これからの 21 世紀の潮流を読む手掛かりにしてほしい。</p>		